

進路便り Road to the Future No.35

面接練習

中学校最後の定期テストが終わり、多くの教科で返却がされていますね。結果はどうでしたか。これまでの勉強の成果が出せたでしょうか。“最後の・・・”となると、いよいよ中学校生活も締めくくりの時期だという気がしてきますね。

さて、今週すでに私立高校を想定した面接練習が行われ、明日と明後日には公立高校前期選抜を想定した面接練習が行われます。面接本番に向けて、準備はできているでしょうか。志望動機や中学校で印象に残っていることなどは、しっかり答えられるようにしておいてください。面接の目的は、第一に『人から』を見ることにあります。素直で明朗なあなたの一番良い所を見てもらえるように心がけましょう。

1.面接の目的

高校が面接を行う主な目的は、次のようなことです。

- ①学科試験や報告書だけではわからない、受験生の人柄を見るため。
- ②入学後の学校生活に対する意欲があるかどうかを確認するため。
- ③高校の校風を理解し、規則をきちんと守っていけるかどうかを見るため。

2.面接の方法

学校によって異なりますが、先生数人に生徒が1人の個人面接と、4～6人ぐらいの生徒を一緒に面接するグループ面接などが一般的です。時間は5～6分程度のところが多いようです。

3.入室、退室等の仕方について

※控え室を用意し、また、面接室の廊下に椅子を用意して、順番の近い生徒が座ります。

※中学での練習は例であり、実際の会場では臨機応変さが大切となります。

(待っている間も、本番のつもりで練習してください。)

作法の例

- ①ノックをする。(“どうぞ”と返答があった後に②へ)
- ②ドアを開き、入室する。後ろを向いて静かにドアをしめる。
(うしろ手にならないこと)
- ③入室したら、さっと室内を見て面接官に向かって「失礼します」と挨拶をしてから一礼する
〈面接官の多いときは中央の人に向かって礼をする〉
→ 定められた位置まで、静かに進む。〈椅子の横に立つ〉
- ④《受験番号〇〇〇番、京都市立大淀中学校、・・・・です。お願いします。》と受験番号と中学校名と氏名を面接官に聞き返されないよう、はっきり大きな声でいう。その後、面接官の指示を待つ。
※名前などを名乗る前に面接官から指示がある場合もある。臨機応変に。
- ⑤面接官の指示があったら背すじを伸ばし静かに深く椅子に腰をおろす。
〈面接→終了〉
- ⑥面接官の指示があったのち起立。座席の横で『ありがとうございました』と深く一礼。
- ⑦静かにドアのところへ進み、ふり向いて面接官に「失礼しました」と挨拶をしてから軽く会釈し、その後ドアを開き、静かに退室しドアをしめる。(うしろ手にならないこと)

4.服装頭髪など

中学校の服装基準が守れていたら大丈夫。標準服(ボタンはついているか)、白・紺などの靴下、運動に適した華美でない靴、規定のポロシャツ・生徒手帳などをチェックしておこう。「頭髪」染色、脱色、その他(スプレーの匂い、マニキュアなど)は絶対ダメです。ピアス、化粧品はもってのほか。あなたの場合は大丈夫ですか。

5.応答の仕方

◇面接中は顔をしっかり正面の面接官に向けていること。

◇質問に答える時は言葉をはっきりと言い簡単明瞭であること。

◇質問が聞き取りにくかったり、意味がよくわからなかった時には遠慮なく「もう一度おっしゃって下さい」と聞きなおすことは構わない。

◇知らないことや、わからないことには「知りません」「わかりません」と素直に答える。

※当然答えるべきことに対しては安易に「知りません」「わかりません」を使わない。

①グループ面接の場合、いつも前の人と同じ答えしか出来ないようではダメ。

②要点を得ないで余計なことをペラペラと過度にしゃべりすぎない。

③いつまでも、もじもじして黙っているのはいけない。

④自信なさそうに口のなかでボソボソ言うのもいけない。

⑤語尾が小さくなってぼやけてしまうのもいけない。

⑥キョロキョロ見回したり、体をゆすったり、落ち着きのない態度もダメである。ニヤニヤ、ゲラゲラもいけない。

※視線を堂々と面接官の顔に向け(やりにくい場合は面接官のネクタイの結び目あたりに視線を定めるとよい)、落ち着いてははっきりと答えるとよい。

⑦質問に答えられない時に頭をかいたり、舌を出したりすることもダメ。

⑧質問されたことの答えを、具体的に説明できるとベスト。ここをがんばろう。

6.敬語と言葉遣い

①友人同志で話すような言葉を使ってはいけない。

「・・・です」「・・・ます」というように最後までていねいに。

②「はい」「いいえ」で答えること。「うん」といったり、うなずくだけは良くない。

③自分と呼ぶときは、男子は「ぼく」、女子は「わたし」というのが良い。

④「あのう・・・」「そのう・・・」「ええと・・・」「まあ・・・」「いちおう・・・」等という言葉は避ける。

7.控え室での態度

校門に入るときから面接は始まっています。(場合によっては最寄りの駅から)

控え室の態度も同様です。次のことに気をつけよう。試験官は見ています。

①まだ面接前だからという気持ちで、だらしなく座ってはいけません。

②退屈だと言って用もないのに立ち歩かない。

③友達と不必要なおしゃべりはしない。携帯電話をさわるなんてもちろん許されません。

④トイレは早めにすませておく。

自信をもって面接に臨めるように、しっかり練習しましょう。